

資料提供

月日	担当館名	担当者	電話
2月22日	県立近代美術館 県立二十一世紀館	友井 藤浦	088-668-1088 088-668-1111

「フリースペース チャレンジとくしま芸術祭 2012 受賞者発表会」 の開催について

1 概要

このたび、県立近代美術館と県立二十一世紀館では、「フリースペース チャレンジとくしま芸術祭 2012 受賞者発表会」を開催します。

様々な表現活動を行っている人や、あこがれを持っている人たちに、ひろく活動発表の場を提供し、未来へ羽ばたく徳島発のアーティストを発見・支援しようという「フリースペース チャレンジとくしま芸術祭」。今回で3回目となるこの芸術祭は、去る1月17日から22日までの間、県立近代美術館を会場に、絵画、写真、工芸、書道などの「展示部門」と、音楽、朗読、ダンスなどの「パフォーマンス部門」の二部門で開催されました。出品・出演されたのは、公募と抽選で選ばれた徳島県出身または在住の皆さん。年齢も経験も問わず、事前の審査もないことから、老若男女、初心者からプロ級までの才能豊かでユニークなアーティストたちが集まりました。

展示部門は約5mの壁面、パフォーマンス部門は15分以内、という条件でグランプリを巡って競いあい、厳正な審査を経た結果、受賞者が決定。そして、今回初めての取り組みとして、受賞者の皆さんによる発表会を開催します。さらにパワーアップした受賞者の作品をお楽しみ下さい。

平成21、22年度に引き続き、3回目の開催です。今回より徳島県立近代美術館と徳島県立二十一世紀館との共催となります。

2 主催 徳島県立近代美術館 徳島県立二十一世紀館

3 会期・会場など

平成24(2012)年3月17日(土)、18日(日)

・展示部門:3月17日(土)、18日(日) 9:30~17:00(18日は16:30まで)

二十一世紀館多目的活動室(1F)

・パフォーマンス部門:3月18日(日) 13:30開場 14:00開演 (16:30終演予定) 途中入場可

二十一世紀館イベントホール(1F)

4 入場料金 無料

5 賞の種類

(1)グランプリ 部門ごとに 各1組

挑戦の度合い、表現の質の高さ、将来性、完成度などの総合力がもっとも認められるもの

(2)準グランプリ 部門ごとに 各1組 グランプリに次ぐもの

(3)チャレンジ奨励賞 展示部門は3組まで、パフォーマンス部門は2組まで 該当者のある場合のみ 将来性・チャレンジ精神において特に優れていると認められるもの

(4)MIP(モーストインプレッシブプレイヤー)賞 部門ごとに 各1組 該当者のある場合のみ 最も印象に残ったと認められるもの

【次のページに続く】

6 審査員(順不同 敬称略)

(1) 展示部門

吉田尚行 (四国大学教授)
鈴木久人 (鳴門教育大学准教授)
白井宏治 (株式会社あわわ出版事業部部長)
森 恵子 (近代美術館長)
安達一樹 (徳島県立近代美術館専門学芸員)

(2) パフォーマンス部門

小西昌幸 (北島町立図書館・創世ホール館長)
遊道久代 (フリーアナウンサー)
武市典子 (株式会社メディコム SALALA 編集長)
福田典彦 (フクタレコード専務取締役)
細井久雄 (文化の森振興総局長・二十一世紀館長)

7 受賞者

(1) 展示部門

グランプリ: きゃしー イラストレーション
準グランプリ: KESHIHAN 洞 J子 消しゴム版画とひょうたんアート
チャレンジ奨励賞: 満壽川愛弓、横田典子、長嶋友理 書道
チャレンジ奨励賞: 川久保貴美子 ファブリックアート
チャレンジ奨励賞: 落合輝紀 絵画
MIP 賞: 美馬匠吾 クリーチャーデザイン

(2) パフォーマンス部門 >

グランプリ: カタタチサト ダンスパフォーマンス(舞踏)
準グランプリ: POWER STAR BOYS ダンス(ヒップホップ)
チャレンジ奨励賞: ROOTS フリースタイルフットボール
チャレンジ奨励賞: へらこい亭一門 朗読・和楽器演奏
MIP 賞: 80歳のチャレンジ 朗読 :大滝キヨ子、川下美代子、川下陽一郎

7 参加者数

平成 23 年度(応募総数 88 組)

「展示部門」 42 組 (応募数 61 組) / 「パフォーマンス部門」 18 組 (応募数 27 組)
参加者説明会・公開抽選会(平成 23 年 10 月 30 日)において、抽選により決定しました。

【参考】

平成 21 年度(応募総数 56 組)

「展示部門」 38 組 (定員 15 組) / 「パフォーマンス部門」 18 組 (定員 15 組)
応募多数のため、会場の工夫等により応募者全員参加

平成 22 年度(応募総数 80 組)

「展示部門」 42 組 (定員 31 組、応募数 54 組)
「パフォーマンス部門」 18 組 (定員 15 組、応募数 26 組)
応募多数のため、会場・上演時間の工夫等により、参加定員を増員。

チラシもご参照ください。

http://www.art.tokushima-ec.ed.jp/challenge/doc/cha2012_award_b.pdf

ホームページも参照ください。過去の様子もご覧いただけます。

<http://www.art.tokushima-ec.ed.jp/challenge.html>